



きゅうしょく れきし

# 給食の歴史～コッペパン給食～

きゅうしょく



しょうわ

昭和27年(1952年)、小麦粉に対する半額国庫補助が

こむぎこ たい

はんがくこっこほじょ

かいし

開始され、4月からすべての小学校対象に完全給食が始ま

しょうがっこうたいしょう

かんぜんきゅうしょく

はじ

まいにち

り、毎日ミルク、コッペパン、おかずの献立が提供されました。

こんだて

ていきょう

ねんご しょうわ

その2年後の昭和29年に「学校給食法」が成立し、給食は

がっこうきゅうしょくほう

せいりつ

きゅうしょく

きょういく

いっかん

ぜんこく

おこ

教育の一環として全国で行われるようになりました。

きょう

きゅうしょく

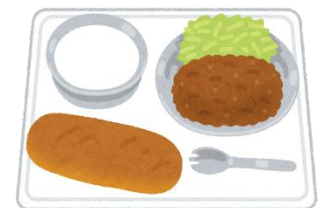
とうじ

こんだて

今日の給食では当時の献立にちなんで、コッペパンと

ていきょう

いちごジャムを提供します。





コッペパン(いちごジャム<sup>つ</sup>付き)、鶏肉のクリーム<sup>とりにく</sup>煮<sup>に</sup>、コールスローサラダ、  
くだもの  
果物(ポンカン)